

ソフト事業のみ
 ハード事業を含む

成果指標設定調書

【成果指標の設定】

成果指標設定年度 8 年度

市町村名	春日部市			
提案事業名	観光ネットワーク型中心市街地官民連携まちづくり事業			
事業期間	令和7年度 ～ 令和8年度			
事業の必要性、目的	鉄道の高架化を契機として、まちの課題解決に向けて話し合う場である「エリアプラットフォーム」を構築し、未来ビジョンを策定することで、官民連携まちづくりを推進していく。			
成果指標	(成果を検証する指標) 設問「今後のまちづくりに関わりたいと思いませんか」に対して、関わりたい、機会があれば関わりたいと回答した人の割合			
	(成果検証の具体的な方法) エリアの機運醸成を図るため、市民や企業に向けたワークショップ等を開催する予定であり、一連の企画の最後にアンケートをとることで検証を行う。検証には%を用いる。			
	(上記の指標を設定した理由) エリアプラットフォームの活動には、メンバーが主体的に動くという意識及び、様々な主体との関りが重要であることから、機運醸成の検証として設定した。			
	(成果の目標値)			
	現状値 (7年3月現在)	—	目標値 (9年3月時点)	70%
	(施設建設等の場合)			
	年間利用者数(目標)(人)		稼働率(目標)(%)	
住民への公表方法及び特記事項	エリアプラットフォームや未来ビジョンに関する募集情報等を市公式ホームページに掲載する。			

【成果指標と構成事業の関連性】

令和8年度 構成事業

構成事業名	概要・成果指標との関連性	事業費(千円)
① 未来ビジョンの策定事業	概要：まちの将来像を描き、実現に向けた取り組みを行う場として、エリアプラットフォームを構築し、プレイヤー共通の方向性を持つ未来ビジョンを作成することで、まちの課題を解決していく。 関連性：まちのことに真剣に取り組むプレイヤーに参画してもらうこと、取り組みを継続していくスキームを構築することを行う。	19,118
②		
③		
④		
⑤		
合計		19,118

【成果指標の達成見込み】

目標達成のための具体的な方策	エリアプラットフォーム構築においては、勉強会や講演会を丁寧に行い、参加意欲を高めるよう努めている。未来ビジョンの策定にあたっては、参加者の意見を尊重しつつも、数値的かつ科学的な根拠に基づく分析を行うことで、多くの参加者に共感がもてるような計画となるように努める。
成果指標の達成見込み	上記の方策を着実に実行することで、目標達成を目指す。